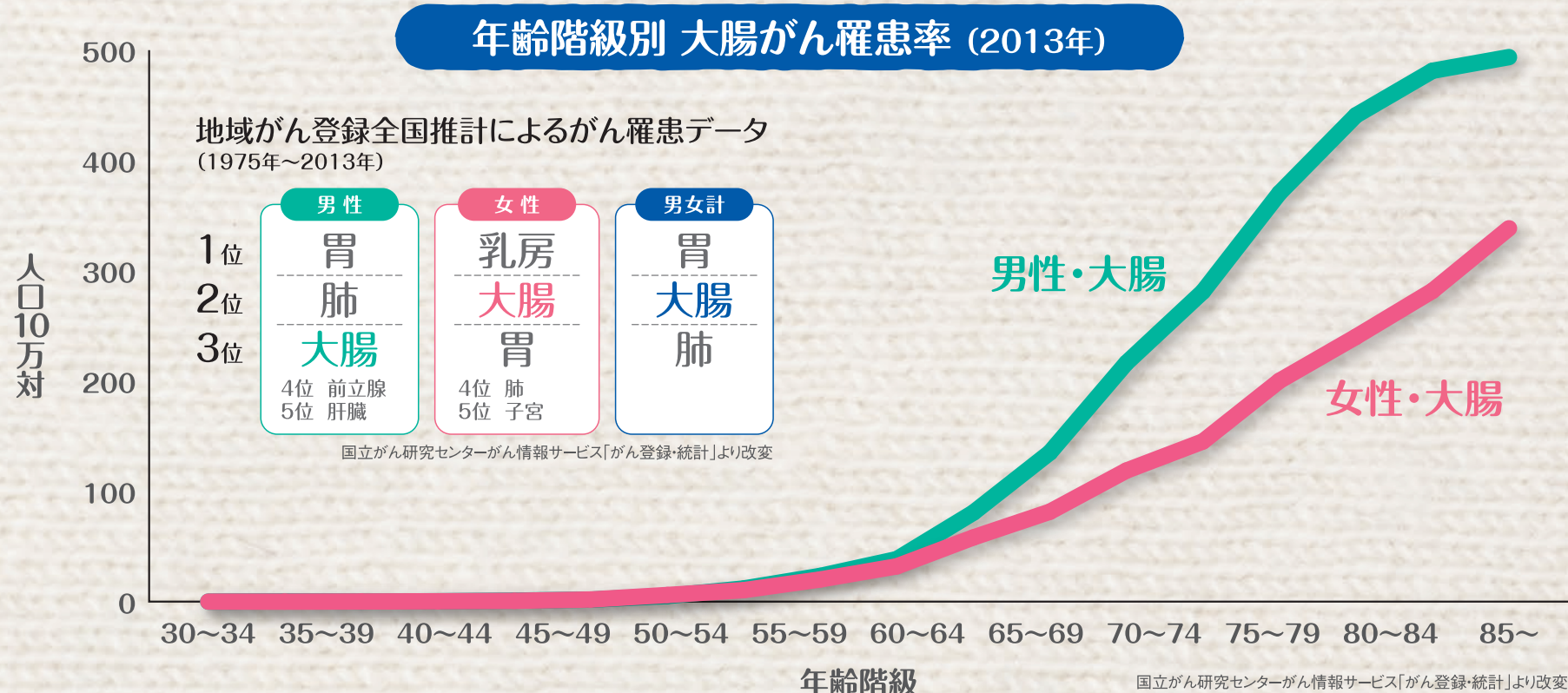


大腸がんの早期発見のために 大腸内視鏡検診を受診しましょう。

大腸がんは、男女ともに罹患数が多いがんの一つで、
40歳を過ぎると罹患率が高まります。



大腸がんの発見には
大腸内視鏡検診が有効な手段です。

- ☒ 便秘になる事が多い、または便秘が続く
- ☒ 下痢が多い、または下痢と便秘を繰り返すことがある
- ☒ 以前に比べて、お通じの状態が変わった(便秘や下痢など)
- ☒ 下腹部が痛くなることがある
- ☒ お腹が張る感じがすることがよくある
- ☒ 血便や、お尻を拭いた時に紙に血が付いてくる
- ☒ 血縁者(3親等以内)に胃や大腸のがん患者がいる
- ☒ 便潜血検査で陽性になったが精密検査を受けたことがない

これらに
該当する方は
大腸内視鏡検査を
お勧めします。



監修：上野 文昭 先生 (大船中央病院 消化器・IBDセンター 特別顧問)

大腸内視鏡検診をご希望される方は当院へご相談ください。